

## 基本目標3 <生活環境> 自然と調和した快適な暮らしを実感できる まちづくり

### 政策3 自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます

政策担当部局：総務企画部、まちづくり推進部、市民生活部、農林部、  
消防本部

施策3-1 安全で暮らしやすい環境の整備

施策3-2 豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成

施策3-3 災害に強い体制の整備

施策3-4 循環型社会の確立と環境保全の推進

### 施策3-1 安全で暮らしやすい環境の整備

施策担当部局：まちづくり推進部、市民生活部

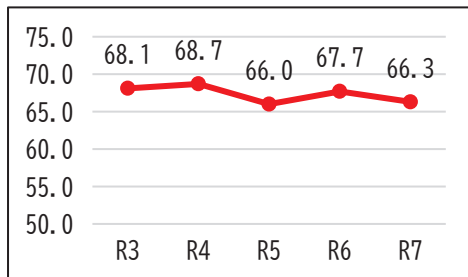
#### 目指す将来の姿

多様化する特殊詐欺や消費者トラブルなどへの対策が図られ、また事故や犯罪の件数が減少しており、安心して生活を送っています。

#### まちづくり指標

##### 「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
（過去5年平均）

67.2点

目標値  
（R12）

73.9点

#### 施策の成果指標

現状値  
（直近値）

71戸

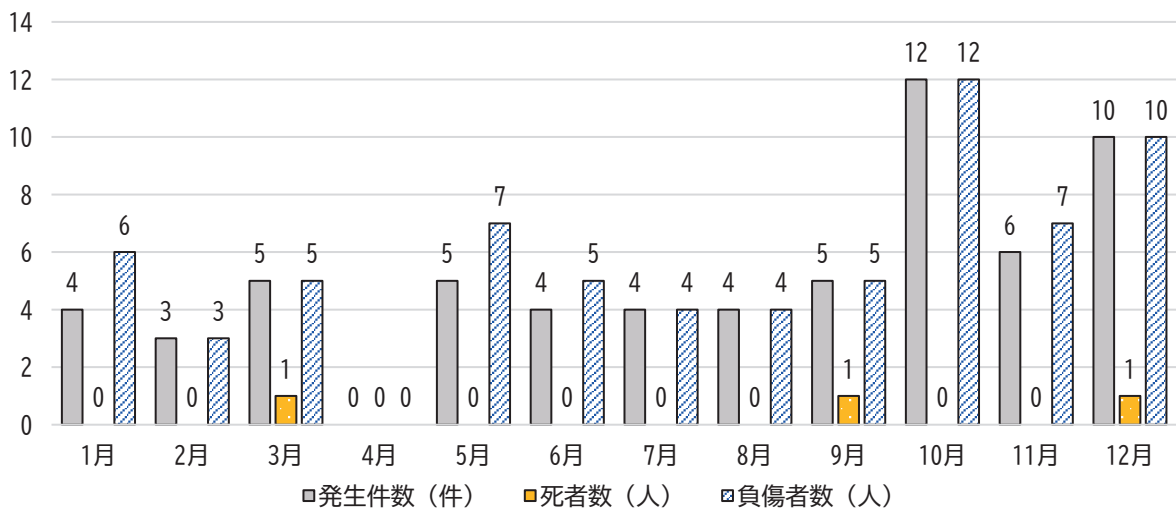
目標値  
（R12）

62戸

特定空家等認定数（累計）

#### 関連グラフ

横手警察署管内の交通事故の状況（令和6年）



資料：横手警察署「交通事故統計」

## 現状と課題

- 1 交通事故件数に占める高齢者の割合が増加傾向にあり、加えて飲酒運転の根絶には至っていない状況です。引き続き警察や関係団体と協力して交通事故防止対策に取り組むとともに、交通安全意識の普及啓発、道路環境の整備、地域の実態に合わせた交通安全の取組を推進していく必要があります。
- 2 特殊詐欺など犯罪が多様化しています。地域や学校、関係機関と連携し、犯罪等の未然防止のため、防犯指導や防犯活動に取り組む必要があります。
- 3 人口減少や家族形態の変化により、空き家は増加し続けており、保安・衛生上の問題となっています。そのまま放置すれば倒壊等著しく危険となるおそれのある空き家は、地域の生活環境に悪影響を及ぼす要因となっていることから、所有者等に対し適切な管理を促す必要があります。
- 4 社会のデジタル化が進み、消費生活が大きく変容する一方で、悪質商法をはじめとした消費者トラブルや特殊詐欺、人権侵害等、市民の抱える問題は複雑化しています。市民がトラブルに巻き込まれないよう、さらなる啓発活動の展開、専門的な相談体制を整え充実させる必要があります。

### 取組方針

交通事故や犯罪、消費者トラブルから身を守る正しい知識の普及啓発などにより、犯罪等を抑止するための効果的な取組を行うほか、各種相談窓口の周知を図ります。

空き家の所有者等への指導・助言を強化するとともに、空き家の総合的な対策を推進するため、市民・関係団体と連携し官民協働での対策を計画的に実施します。

## 施策の展開

### 1 交通安全対策の推進

- 交通安全意識の普及・啓蒙を図るため、各種団体と連携し、地域ぐるみで交通災害の防止に努めます。
- 交通事故を未然に防ぐため、道路パトロールの実施により道路環境整備を進めます。また、区画線やカーブミラー設置等の交通安全施設の適切な整備及び維持管理を図ります。
- 自転車が関与する交通事故を防ぐため、警察等の関係団体と連携し、自転車利用者の交通ルールに対する意識向上に取り組みます。

主要事業等 交通安全対策事業

### 2 防犯対策の推進

- 警察や防犯関係団体と連携し、学校・家庭・地域を巻き込んだ防犯対策を推進することで、犯罪被害の未然防止と防犯思想の普及に取り組みます。

主要事業等 防犯対策事業

### 3 空家等対策の推進

- 安全で安心な生活環境を実現するために「予防の推進」、「適正管理の推進」、「利活用の推進」の取組方針に基づき、効果的な空家等対策を実施します。
- 特定空家等を認定し、法律に基づく措置により、市民の安全や生活環境の保全を図ります。
- 空家等管理活用支援法人を指定し、官民協働で空き家対策に取り組みます。

主要事業等 空家等対策事業

### 4 市民相談の実施

- 市民が抱える様々な多様化した問題を解決するため、無料法律相談や消費生活相談など、各種窓口の周知を図り相談体制の充実と強化を図ります。

主要事業等 市民相談事業



消費生活出前講座の様子

### みんなで一緒にできること

- 私たちは、交通事故を未然に防ぐため、日常生活において気づいた道路環境や交通標識などの危険箇所情報を、行政へいち早く届けます。
- 私たちは、特殊詐欺などの犯罪から身を守るため、近隣住民や行政と情報を共有し、地域一体となって犯罪の水際対策に努めます。
- 私たちは、常日頃から地域に目を配り不審者等の情報を警察、行政に情報提供します。
- 私たちは、高齢者世帯や一人暮らし世帯等の情報を共有し、声掛け運動に努めます。
- 私たちは、管理不全となっている空き家の情報や、今後空き家となりうる住居などの情報を行政へ伝え、所有者などの把握に協力します。

### 関連計画

横手市交通安全計画、横手市空家等対策計画

### 施策3-2

## 豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成

施策担当部局：市民生活部、農林部

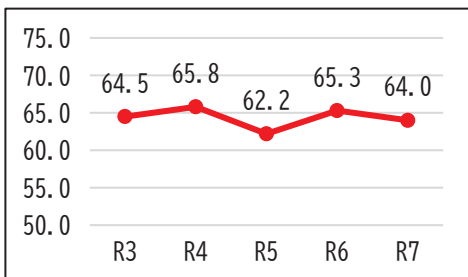
#### 目指す将来の姿

自然と人が調和し、全ての世代が生き生きと笑顔で暮らせる、持続可能で魅力あふれる生活環境が整っています。また、四季折々の豊かな自然環境が次世代へ引き継がれており、市民の誰もが心から安心を実感できる生活を送っています。

#### まちづくり指標

### 「自然環境と安全安心な生活環境の形成」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
(過去5年平均)

64.3点

目標値  
(R12)

70.8点

#### 施策の成果指標

現状値  
(直近値)

1人

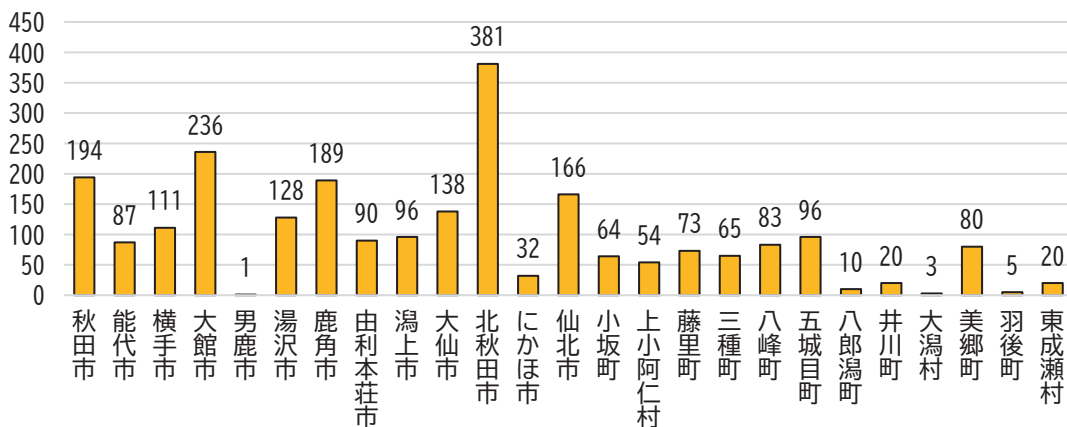
目標値  
(R12)

0件

ツキノワグマによる人身被害発生件数  
(年間)

#### 関連グラフ

県内のツキノワグマ捕獲状況（令和5年度）（頭）



資料：秋田県「令和5年度ツキノワグマ・イノシシ・ニホンジカ捕獲統計」

## 現状と課題

- 1 里山的な森林生態系と水田地域特有の耕地生態系の中で、多種多様な生物が生息していますが、後継者不足や担い手不足により、管理不全の土地が増加する傾向にあります。生物多様性が失われないよう、環境学習会等を充実させ市民意識の向上を図り、森林や農地のもつ環境保全機能や水循環機能の維持・向上を図っていく必要があります。
- 2 小川や水路、池沼、湧水地、水田等、多様な水辺環境は市民生活にとって欠かすことのできない自然環境です。豊かな自然環境を次世代に伝えるためには、自然を破壊する行為を監視し、環境整備を図るための調査や対策に取り組んでいく必要があります。
- 3 市民の環境問題に対する知識や関心は高まっているものの、その一方では市街地等におけるごみのポイ捨てや不法投棄などの環境汚染問題が発生しています。関係機関や団体、有識者等と連携し、その対策に取り組む必要があります。
- 4 森林病虫害やクマ、イノシシなどの野生鳥獣による被害が増加しています。快適で安全な生活環境と豊かな自然を守るために、これらの被害防止対策の取組を強化していく必要があります。



金峰山麓から横手盆地を望む

### 取組方針

地球環境への悪影響を減らすための対策や公害の防止、天然資源の使用削減などを推進します。また、森林病虫害防除や、森林環境及び公益性を意識した森づくりに取り組むとともに、野生鳥獣による人身被害や農林被害の発生防止に努めます。

## 施策の展開

### 1 里山、森林、生態系、相互に関連し合う自然環境の保全

- 市民、NPO、事業所、大学など多様な主体が里山保全活動に参加できる仕組みづくりを支援します。
- マツ枯れやナラ枯れの被害拡大を防ぐため、病害虫の防除や被害木の駆除を実施します。
- 倒木などの被害を防ぎ景観を維持するため、マツやナラの枯死木を伐採します。
- 森林とふれあえる場としていこいの森の維持・整備を行います。

#### 主要事業等

森林病害虫等防除事業、水と緑の森づくり事業

### 2 公害の防止

- 大気質や水質、騒音など、環境測定を実施し、状況を把握するとともに、その結果を公表します。
- 悪臭への苦情は多種多様であり、原因者を特定し法令や条例に基づく取組を推進するとともに、関係機関と連携しその対策に取り組みます。

#### 主要事業等

公害防止対策事業

### 3 環境美化活動の推進

- 市内各町内会より環境美化推進員を推薦してもらい、美化活動の実践による意識向上を図ります。
- 全市一斉クリーンアップを実施することにより、市民意識の向上を図り、ごみのポイ捨てや不法投棄を「しない」「させない」環境づくりに取り組みます。

#### 主要事業等

環境美化推進事業、不法投棄場所の把握と監視

### 4 鳥獣被害の防止

- クマなどの野生鳥獣が人の生活圏に近づくことを防止するため、緩衝帯の整備や誘引物の除去に取り組みます。
- 鳥獣被害対策実施隊の活動体制を強化し、人身被害や農林被害の発生防止を図ります。
- クマの出没状況や被害防止策など、市民のクマ対策に役立つ情報発信に努めます。

#### 主要事業等

有害鳥獣対策事業



### みんなで一緒にできること

- 私たちは、自然に親しむイベントなどへ積極的に参加し、横手の自然について学ぶとともに、理解を深めるよう努めます。
- 私たちは、地域のクリーンアップに老若男女問わず、みんなで積極的に参加するとともに、ごみの不法投棄などが無い横手市になるよう、みんなで声を掛け合います。
- 私たちは、クリーンアップ事業に限らず、常に環境美化を意識し、ウォーキング、散歩など運動と並行し、クリーンアップに努めます。常習化している不法投棄場所を発見した場合は関係機関へ情報提供に努めます。
- 私たちは、農業用水等の水路に草刈り後の草やごみ等がないようにし、水害被害の防止と清流の保護に努めます。
- 私たちは、野生鳥獣との共存を意識し、自分たちにできること（草刈り・生ごみの管理等）を率先して実践し、人身被害や農林被害の防止に努めます。

### 関連計画

横手市環境基本計画、横手市農業振興地域整備計画、横手市森林整備計画、横手市景観計画

### 施策3-3 災害に強い体制の整備

施策担当部局：総務企画部、消防本部

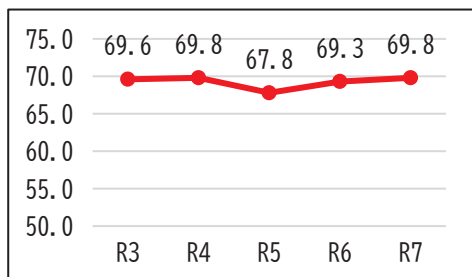
#### 目指す将来の姿

消防や救急体制がより充実し、地域での防災活動が活発に行われ、市民と行政の協働による災害に強いまちづくりが進んでいます。

#### まちづくり指標

##### 「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
（過去5年平均）

69.2点

目標値  
（R12）

76.1点

#### 施策の成果指標

救命講習受講者数（年間）

現状値  
（直近値）

972人

目標値  
（R12）

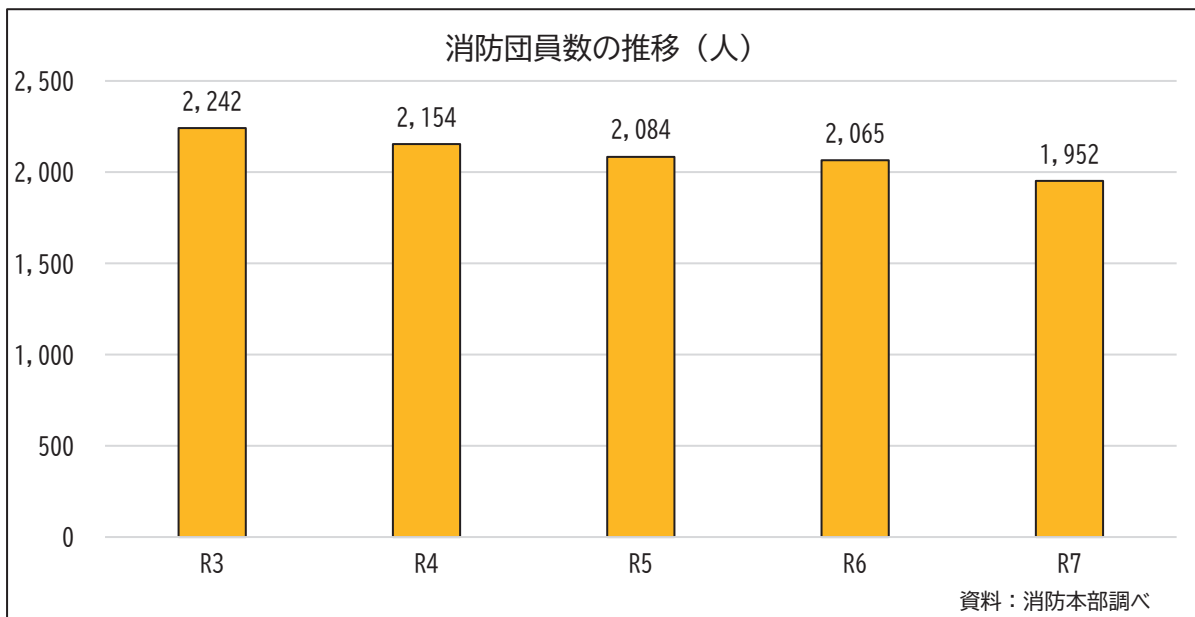
1,200人

県と共同備蓄22品目の目標数量に対する備蓄率

92.8%

100%

#### 関連グラフ



## 現状と課題

- 1 近年全国的に大雨や巨大地震により大きな被害が発生しており、当市においても大雨や台風、地震などによる自然災害が散発的に発生しているほか、雪国特有の豪雪災害が市民の生活を脅かしています。自然災害や、甚大な被害が想定される積雪寒冷期の地震による複合災害についての対応が求められ、市民の生命や財産を守るためにも、総合的な危機管理体制の強化・救急救命体制の充実を図る必要があります。
- 2 少子高齢化やライフスタイルの変化により、地域コミュニティにおける住民間の交流やつながりが希薄化しており、地域防災力を維持できなくなる恐れがあります。火災をはじめとする災害の未然防止や災害時の対応には、消防体制の整備や消防団活動に加え、自主防災組織など地域の方々の組織的な活動や企業の応援が必要となります。特に、一人では避難することが困難な高齢者や障がい者に対しては、公的機関のみならず、地域の支援が不可欠なことから、地域防災力を強化する必要があります。
- 3 消防団員数は、過疎化や高齢化、被雇用者の団員増加などを理由に減少が続いています。災害の規模が大きくなるほど、多数の住民の避難や救助が必要となり、消防団の動員力と機動力が求められることから、地域防災の中核を担う消防団組織を維持するとともに、社会環境の変化に合わせた活動を推進していく必要があります。
- 4 近年の災害事例などにより自然災害への危機感や防災への関心は高まってきているものの、各家庭や事業所などでの有事の備えや避難行動の意識はまだ不足しています。さまざまな災害による被害を最小限に食い止めるためには、防災講話やハザードマップなどにより、市民に対し最新の防災情報を発信し、市民にはそれを受け取り行動につなげてもらうことが必要です。また、防災訓練の実施により、迅速で的確な対応がとれる体制づくりに継続して取り組む必要があります。

**取組方針**

災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とします。災害に対しては「自らの命は自ら守る行動（自助）」と「身近な地域コミュニティによる助け合い（共助）」が非常に大切です。市民の防災意識の啓発・消防団への加入促進・自主防災リーダーの育成を推進し、これに「企業・団体等の協力を得た公的機関の支援（公助）」を加えた地域の総合力で対応していきます。また、災害や救急救助要請に迅速に対応するため、消防車両や資機材の計画的な整備・更新を進めます。

## 施策の展開

### 1 防災施策の推進

- 防災計画や防災マニュアルの見直しを適時行うとともに、新たなデジタル技術の導入を図りながら防災体制の強化や飲食料品をはじめとする備蓄品の整備、避難所の生活環境改善対策を計画的に進めます。
- 広域防災拠点等について、国や県と協議を進め機能強化を図ります。

主要事業等 災害対策費

#### 消防機能の維持向上

- 計画的な消防車両等の整備・更新並びに防火水槽や消火栓等の消防水利の設置を進めるとともに、既存の施設や設備等を適切に維持管理します。
- 多発化・激甚化する災害に備え、装備の充実とともに関係機関との連携強化を図り、消防体制の整備に取り組みます。

主要事業等 常備消防施設等整備事業、消防施設整備事業

#### 救急救命体制の充実

- 救急救命士の養成等、救急救命体制の充実に努め、迅速・確実な救急搬送を行なうため医療機関との連携を図ります。
- 公的施設等に配置されているAED（自動体外式除細動器）の適正な維持管理を行なうとともに、市民に対する応急手当の普及・啓発に取り組みます。

主要事業等 救急医療機器管理費

### 2 地域と一体となった防災体制づくり

- 自主防災リーダーの育成を進め、自治会や自主防災組織等への防災意識の浸透を図り、一人暮らし高齢者や障がい者などの避難行動要支援者を、地域全体で支援していく体制づくりを推進します。
- 有事の際に迅速で的確な対応が取れるよう、防災訓練の実施や自主防災組織の確保・育成を図ります。

主要事業等 災害対策費、避難行動要支援者名簿整備事業

### 3 消防団活動の推進

- 幼少期からの防災教育や広報活動のほか、企業等の消防団活動に対する理解促進に努め、消防団員の確保を図ります。あわせて消防団協力事業所制度を推進して消防団員が活動しやすい環境整備に取り組みます。
- 可搬ポンプ積載車などの消防車両や、激甚化する災害時においても消防団員が安全に活動することができる装備・機材の計画的な配備と更新を進めます。

主要事業等 非常備消防事業

#### 4 災害危険区域等の情報提供

- 県との協力のもとに、当市の地理的条件や気候特性を踏まえ、大雨や大雪などによる水害や土砂災害の危険箇所の実態を把握し、ハザードマップの更新や市民への情報提供、及び災害の未然防止への取り組みを進めます。

##### 主要事業等

災害対策費、急傾斜地崩壊対策費



#### みんなで一緒にできること

- 私たちは、日頃から隣近所とコミュニケーションを図り、非常時の際の避難・協力体制を整え、それに備えます。
- 私たちは、地域の消防団と協力し、消火訓練、避難訓練等を行うとともに、高齢者世帯、一人暮らし世帯の安全な避難誘導を訓練し、行政と協力し、災害発生時に備えます。
- 私たちは、防災意識を高め「自分の身は自分で守る」ことを念頭におき、水や食料などの備蓄、非常時に備えた防災グッズ等をリスト化し、置き場所や備品のチェックを行い、非常時に備えます。
- 私たちは、家族で非常時の連絡方法や安否確認方法、個々の行動について話し合い、共通認識を図り災害時に備えます。（特に日中の行動。職場からの避難場所や家族の最終集合地点など）

#### 関連計画

横手市地域防災計画、横手市水防計画

## 施策3-4 循環型社会の確立と環境保全の推進

施策担当部局：市民生活部、農林部

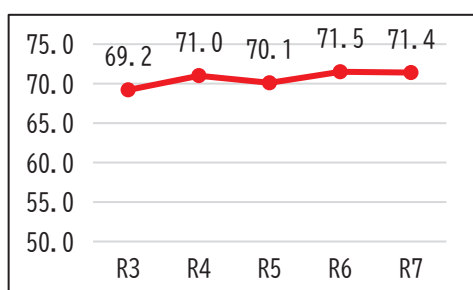
### 目指す将来の姿

環境に対する市民の意識が高まり、資源循環の定着と気候変動対策への取組が進み、豊かな自然と調和した生活環境が保たれています。

### まちづくり指標

#### 「環境保全政策の充実」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
(過去5年平均)

71.0点

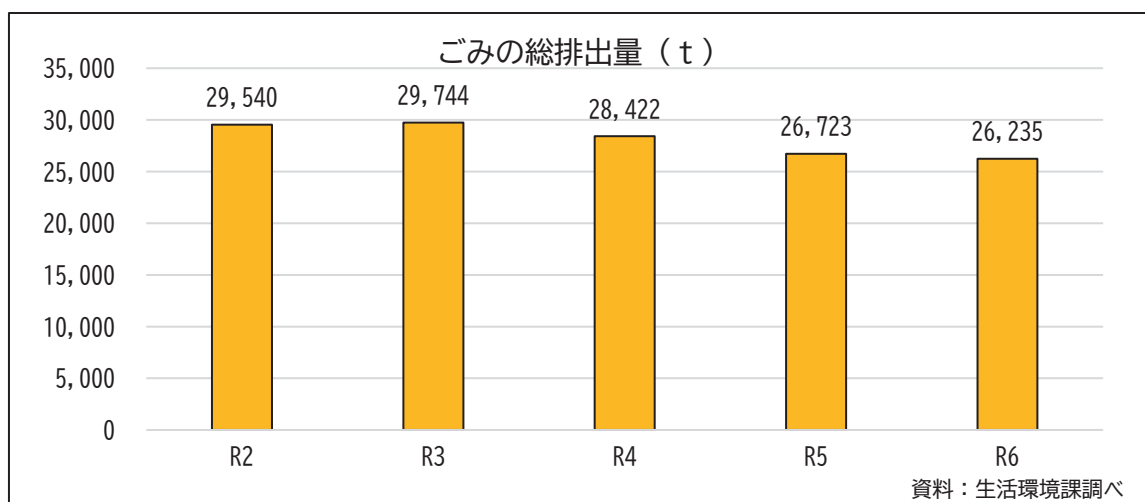
目標値  
(R12)

78.1点

### 施策の成果指標

	現状値 (直近値)	目標値 (R12)
1日一人あたりの家庭ごみの排出量	637g	619g
ごみの資源化率（年間）	19.0%	21.5%
横手J-クレジット販売量（年間）	101t	150t

### 関連グラフ



## 現状と課題

- 1 一般家庭から排出されるごみの量は減少傾向にありますが、依然として事業所から排出される産業廃棄物が一般廃棄物に混入されて、クリーンプラザよこてへ搬入されています。また、空家等の片付けごみの増加に伴い、総排出量の減量化は進まない状況です。さらに、ごみの資源化率も減少傾向にあります。事業所及び搬入業者へより一層、分別の徹底を促すとともに、引き続きごみの減量化に向けた取組が必要です。また、再資源化を推進するため、市民や事業者へより一層の分別徹底を促す必要があります。
- 2 今後、集積庫へごみを排出できない高齢者世帯の増加が予測されます。一方、集合住宅地等の新規造成、住宅の建築により集積庫が増え続けている状況があります。新たな収集体制や制度について、関係機関や団体等と協議し取り組んでいく必要があります。
- 3 気候変動対策や災害時のエネルギー確保のため、再生可能エネルギーへの転換と省エネルギーの対策が必要となっていますが、当市の自然環境は大きな再生可能エネルギーを作り出せる現状にはありません。地域にある小さな資源からエネルギーを生み出し蓄積させる等、市民一人ひとりが再生可能エネルギーについての理解を深め、その対策に取り組んでいく必要があります。



クリーンプラザよこて（空きびんリサイクル前）

### 取組方針

「新ペットボトル等処理施設」の建設に合わせ、分別ルールに製品プラスチックを新たに加え、周知浸透を図り、資源循環意識の醸成を図ります。

精度の高い3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進により、環境への負荷低減と資源の有効活用を図り、循環型社会の確立を目指します。

公共施設から排出される温室効果ガスの削減目標・結果を活用しながら、市民や法人等に向けた気候変動対策の推進を促す啓発を行います。

## 施策の展開

### 1 ごみの適正処理と資源循環の推進

- 集団資源回収活動（新聞雑誌・段ボール・アルミ缶・びん等）を推奨し、ごみの減量化・資源化の取組を支援します。また、新たに製品プラスチックを分別に加え、更なる資源化率の向上を図ります。
- 循環型社会の担い手として市民の3Rを意識した行動の定着を図り、さらに「もらわない（リフューズ）」・「修理（リペア）」へとつながるライフスタイルへの普及啓発を推進します。
- 事業所から排出されるごみの減量化を図るため、産業廃棄物の混入防止の啓発活動を強化し適正処理を推進します。

#### 主要事業等

ごみ収集事業、集団資源回収活動奨励金、ペットボトル等処理施設整備事業、横手衛生センター基幹的設備改良事業

### 2 ごみの収集体制の確立

- 高齢者世帯からのごみ収集体制の確立、集合住宅地への集積庫の設置や既存集積庫の統廃合など、状況に応じた柔軟な収集体制について、関係団体や機関と協議を進めます。

#### 主要事業等

ごみ収集事業、ごみ集積庫整備事業

### 3 脱炭素社会に向けた取組の推進

- 一般家庭における再生可能エネルギーや省エネルギー設備等の導入・活用を促進します。
- カーボンニュートラルの実現に向け、市民や事業者の環境意識の向上と主体的な環境保全活動を推進します。
- 横手J-クレジットを活用し、カーボンオフセットへの取組と森林整備の推進を図ります。
- 省エネルギー機器などの導入推進など、市が率先して温室効果ガスの排出抑制に取り組みます。
- 新築住宅などの木質化を推奨し、CO<sub>2</sub>削減の働きかけを行います。

#### 主要事業等

再生可能エネルギー導入促進事業、脱炭素と気候変動対応事業、カーボンオフセット地球温暖化対策費



資源回収ステーション



### みんなで一緒にできること

- 私たちは、ごみの分別に積極的に取り組み、ごみの減量化に努めるとともに、資源の有効活用を心掛けた生活スタイルを築きます。
- 私たちは、「家庭で」「隣近所で」「地域で」ごみの処理について理解を深めるとともに、ごみの出し方や集積所の管理について協力し合います。
- 私たちは、「無駄な買い物をしない」等のごみ減量化に努めるとともに、地域でごみに関する講習会を開催し、理解を深めることに協力します。
- 私たちは、CO<sub>2</sub>削減とは何かを情報共有し、知識を共有します。
- 私たちは、家庭でできるCO<sub>2</sub>削減対策を考え実行します。

### 関連計画

横手市環境基本計画、横手市一般廃棄物処理基本計画、横手市災害廃棄物処理計画、横手市分別収集計画、横手市気候変動対策実行計画